

おぐまひと美

小

熊

後援会ニュース

《No.1》 2022.6.25発行

発行者 おぐまひと美後援会

Mail: ogumahitomikouenkai

@gmail.com

☎017-742-6728

〒030-0966

青森市花園1-7-14



おぐまひと美が取り組みたい7つの課題

- 1) お年寄りや子どもたちを大切に、福祉と医療の充実をめざします
- 2) 流・融雪溝の拡大と除排雪の徹底で市民生活を守ります
- 3) 文化と歴史を大切に、教育環境の向上をめざします
- 4) 多様性を尊重し、みんなが生きやすい町を
- 5) 憲法を活かし平和を守る市政の実現を
- 6) とめよう再処理！ 核の不安のない青森を
- 7) 農林水産業と地元産業の育成で、雇用の拡大を



おぐまひと美 活動日誌

みなさんの声を聞き、また思いを皆さんに伝えたいと願って毎日街を歩いています。

お昼過ぎに浪岡のりんご園にお邪魔しました



青森駅前の金曜日行動で核燃サイクル廃止を訴える



朝のいろは通り入口で



青森レインボーパレードで共同代表の岡田実穂さんと



プロフィール

- 長野県に生まれ、高校生まで善光寺のお膝元で育つ。
- 上京してシングルマザーとして二人の子どもを育てながら懸命に働く。その間にうつも経験。回復後は非正規で働き続ける。
- 常に困っている人、マイノリティ、少数派と共にありたいというのが生きる上での信条。
- 3.11の福島原発事故以降、原発を止める活動を続けてきた。活動の中で青森の男性と知り合い再婚、青森市に移住。趣味は庭いじり、読書、映画、手芸、数独。
- 空の広さとおいしい食べ物に感動。自然とともに生きる青森の暮らしに幸せを感じる毎日。
- 社民党青森県連合・市民生活相談室長。1955年生まれ。青森市花園在住。

ホームページ

<https://ogumahitomi.net>



ツイッター

<https://twitter.com/ogumakouenkai>



みんなで作ろう ぐらしやすい青森市 市民の声をもっと市政に！



こんにちは！ おぐまひと美です

この秋、社民党公認で青森市議会議員選挙に立候補を予定しています



社民党

結婚して青森に移って、たちまち青森の自然のとりこになりました。青い森鉄道の跨線橋の真ん中まで自転車で漕ぎ上がると、いきなり現れる八甲田山。四季折々の美しい姿を目にするたびに、青森にきて本当によかったと実感します。

高校生まで長野県で育ち、未熟ながら社会的な関心をもって活動をしていました。卒業後に上京してからは、シングルマザーとしてけんめいに働きながら二人の子どもを育てる毎日で、そういう活動からはまったく遠ざかっていました。

子育ても終わったころ、福島原発事故が起きてしまいました。原発に疑問を持ちながら、結局見過ごしてきた自分の姿勢に忸怩たる思いを抱き、盛り上がっていた反原発の活動に飛び込みました。活動の中で、青森在住の連れ合いと出会い結婚し、こちらに移ってきました。

たまたま旧浪岡町長で元県議の古村一雄さん

のりんご園で収穫などのお手伝いをする中で、予想もしなかった市議選への立候補を説得されました。政治経験もなく、青森に住み始めてまだ日も浅いことから固くお断りしていましたが、大好きな青森を、ずっと安心して暮らしていける街に、という願いを実現するために、立候補を決意いたしました。

シングルマザーとして夜中まで働き続け、うつも経験しました。一度病気になると、回復しても非正規で働くしかありませんでした。その経験から、常に社会的な弱者やマイノリティとともにありたいというのが私の信条です。社会の片隅に追いやられがちな障害を持つ方、非正規雇用の方、性的少数者・LGBTQの方などに強く共感します。

これからは青森のこの素晴らしい自然を守り、安心して暮らせる街をつくるために力を尽くしたいと決意しています。



青森市議会に新しい風を！

青森市政にたずさわる市議会議員に必要な資質とは、党派などよりも人柄を重く見るべきだと常々わたくしは思っています。

おぐまひと美さんは、何事に対してもひたむきに、まじめに、一生懸命になって真心で取り組み、不正を嫌う律儀な人です。心にわだかまりをもつことなく、さっぱりした心の持ち主でもあります。軽々しく行動しませんので派手さはありませんが、一方では、とても乙女チックな心も持ち合わせています。

わたくしのりんご畑にお手伝いに来ていただいた2年間のご縁で感じた、おぐまひと美さんの印象です。

このお人柄は、ご自分が幼少期から身をもって体験してきた、競争社会における敗者・負け組体験から育まれたものと推察しています。

おぐまひと美後援会長 古村一雄
(農業 旧浪岡町長 前青森県議会議員)

勤勉な青森市議会議員として、日々の暮らしに困っている市民の方々、人知れず差別に苦しんでいる人々など、少数派市民の力強い味方となって、市民の期待を裏切ることなく活躍されることは請け合いです。

わたくしからみるおぐまひと美さんの評価は、「べたぼめ」につきます。だからこそ、市議会選挙に名乗りを上げるよう執拗に説得し、そのために社民党入党をすすめ、後援会長を引き受けたところでした。

私利私欲とはまったく縁のないおぐまひと美さんを、市民のみな様のご支援で青森市議会に送っていただけるよう、切に心から願います。